

財務担当理事 岩間 伸之（大阪市立大学）

一般社団法人日本社会福祉学会 2011年度定時社員総会は、第60回春季大会当日の2012年5月27日（日）の10時から東洋大学白山キャンパスにて開催された。

I. 会長挨拶

一般社団法人日本社会福祉学会白澤政和会長より開会挨拶があった。

II. 定足数の確認

金子光一総務担当理事から、役員（会長除く）と代議員158名、定足数80名に対して、現在の代議員出席者が92名（委任代議員53名を含む）となったことから、定款第32条に基づき、定時社員総会を開催し、議事を進行するとの開会宣言があった。

なお、総会終了時点での出席代議員は96名（委任代議員53名を含む）であった。

III. 議事録署名人の選出について

定款第37条第2項に基づき、議事録署名人として、杉村宏監事と小林良二監事を選出した。

IV. 議事

第1号議案 （社）日本社会福祉学会 2010年度事業報告及び決算・監査報告について

議長からの趣旨説明に続いて、まず金子光一総務担当理事から事業報告があった。学術研究集会、学会機関誌、研究奨励・研究業績の表彰、関連学術団体との連携、国際的な研究活動の推進、学会の組織・運営、各地域ブロックの事業報告について、順次報告があった。引き続き、岩間伸之財務担当理事から、財務状況を含めた決算報告があった。総体的には予算執行計画に基づいて円滑に予算執行され、懸案であった会費未収金の取り扱いについても、年間をとおした年会費の請求・督促方法の新たな取り組みによって効果が上がったとの報告があった。

その後、杉村宏幹事から学会業務及び経理に関わる監査報告があった。

審議の結果、（社）日本社会福祉学会 2011年度事業報告及び決算・監査報告を満場一致で承認した。

第2号議案 名誉会員の推挙について

議長から、定款第6条に「この法人および社会福祉学の発展に特に貢献のあった個人で、理事会によって推薦され、社員総会の議決をもって承認された者」と規定されている。2012年3月4日開催の理事会で岡本民夫会員と井岡勉会員を名誉会員に推挙することを承認した、との提案趣旨説明があり、審議の結果、2名の名誉会員を満場一致で承認した。

その後、井岡新名誉会員からご挨拶をいただき、また岡本新名誉会員からのメッセージ（手紙）が代読された。

第3号議案 （社）日本社会福祉学会 2012年度事業計画及び当初予算について

議長から法人としての3年目の予算は、財政状況を踏まえ事業計画実現に向けて編成したとの提案趣旨説明があった。

金子総務担当理事から事業計画の説明、その内容に基づいて岩間財務担当理事から、財

務状況を含めた当初予算の報告があった。2012年度より学会賞事業と日韓学術交流事業は本部事業に組み込み、特別事業として、出版事業、全国大会運営事業、地域ブロック事業とするとの説明があった。当初予算には、計画内容が確認されていない事業があり、具体的な事業計画が確定した段階で補正予算を組み対応したい旨の補足説明があった。

審議の結果、(社)日本社会福祉学会 2012年度事業計画及び当初予算を満場一致で承認した。

第4号議案 その他

なし

V. 報告

1. 日本社会福祉学会第2期代議員選挙結果について

第2期代議員選挙管理委員会の委員長である湯浅典人会員から、今回の選挙で179名が当選し、その後9名の辞退者があり、最終的には代議員が170名になったとの報告があった。引き続き、金子光一総務担当理事から、第2期代議員は、総会終結時から2年後の定時社員総会の終結の時までであるとの説明があった。

2. 日本社会福祉学会第3期役員候補者選挙実施について

金子総務担当理事から投票期間、開票月日等今後の予定について報告があった。

3. 日本社会福祉学会「組織・運営に関するあり方」について

議長から、2011年度12月17日開催の第5回理事会において「組織・運営に関するあり方委員会」が設置され、委員長に山縣文治会員、委員に原田正樹会員、金子光一総務担当理事が指名されたことが報告された。昨日の理事会において「中間答申」が示されたことも併せて報告された。

VI. その他

代議員から、「生活保護が大きな課題となっているが、社会福祉学会としてはこの課題に対してどのような姿勢で取り組んでいかれるのか」との質問があった。会長及び理事から、「大事な課題であることを十分認識しており、7月の札幌でのフォーラムにおいてもこの関連テーマで開催したい」との回答があった。

議長は、議事終了の旨を告げ、11時25分に定時社員総会を解散した。